

琉球大学学術リポジトリ

写真や図を中心にみる琉球の農作物主要病害虫

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学農家政学部 公開日: 2011-05-23 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 田盛, 正雄, Tamori, Masao メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/19886

写真や図を中心に見る

琉球の農作物主要病害虫

作物を栽培して、病害虫の発生にみまわれ、収穫が激減する事ほど農民を落たんさせるものはあるまい。

多くの労力を注ぎ込んで育てあげた作物をかかへる侵入者から防ぎ、より多くの収益をあげるように努めるべきである。

病害虫の発生を少なくするには先ずそのものを知り、しかるのちそれが防除の対策を立てるべきでしょう。ところでこれから農家便りの一端を利用して頂き皆様とともに琉球の農作物主要病害虫をできるだけその発生時期と一致させながらみていこうと思う。

病氣

ハクサイの白錆病

宿主 ハクサイ、カラシナ、ダイコン、カンラン
 タイサイ、サントウサイなどに寄生。種類はちがうがヨウサイ(ウンチエバー)にもやはり白さび病菌が寄生する。

病徴 主として葉に乳白色のふくらんだはん点を生じ、後破れて白色の粉末がでる。莖、花等では膨れてき形となる。

病菌 胞子は球形で無色、長さ二・二九、巾一・〇一、二七ミクロン(一ミクロンは一〇〇〇分のミリ)

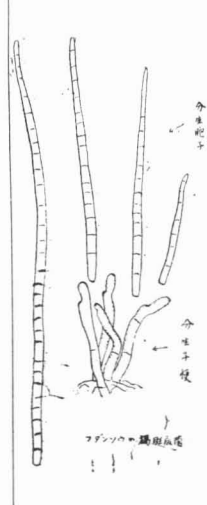
防除

一、十字花科植物以外のものと輪作する。



(1)

上、ハクサイ白錆病の被害葉(カラシナ)と病原菌分生胞子
 下、フダンソウのかつはん病被害葉と病原菌分生胞子



(9)

一、被害植物の除去焼却。
 一、六斗式ボルドー液、またはダイセーシ(八一〇)水一斗を約一週間おきに二・三回散布する。

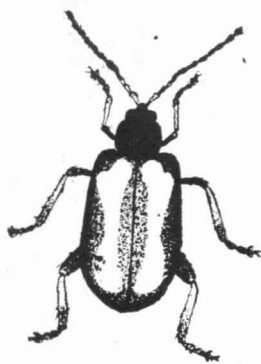
フダンソウのかつはん病

宿主 フダンソウ、サトウダイコン(テンサイ)の最も恐るべき病害である。

病徴 主として葉に発生、はじめ表面に紫紅色の小さな点を生じ、のち拡大して円形となり中央部は灰かつ色に変じ、灰色のカビを生ず。ひどくなると各病はんは融合して全葉に広がり、全葉たん黄かつ色になつて枯れる。

病菌 分生胞子は無色、鞭状、先端尖り基部太く長さ七五—二〇〇、巾三、五—四ミクロン。
防除

一、種子は健全株から得たものを用い、疑問のものには〇、三%セレスンで粉衣消毒する。
一、発病地には少なくとも二年間他の作物を輪栽すること。
一、被害株は集めて焼却する。
一、四—五斗式石灰ボルドー液を発生のはじめ頃から約一週間おきに三回位散布する。



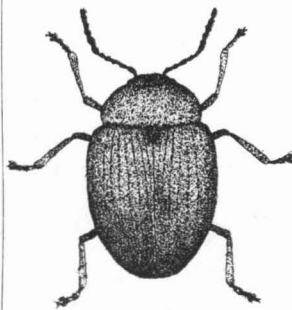
キスジノミハムシの成虫
とカラシナの被害葉(右)

害虫

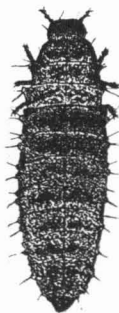
ダイコンサルハムシ

形態 成虫は体長四ミリ内外、背面は著しく膨隆し光沢のある黒藍色。幼虫は体長六ミリ、全体灰黒色。

加害 幼虫、成虫共にダイコン、ハクサイ、カブを食害する。琉球ではおもに秋から春にかけてみられる。

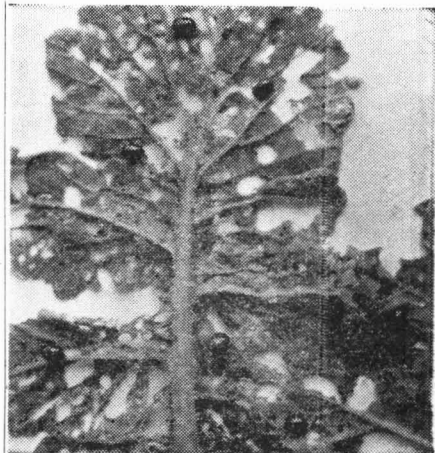


成虫



幼虫

ダイコンサルハムシ
右 ダイコンサルハムシによる被害葉



防除

一、BHCの1%粉剤または水和剤〇、〇四%液を散布する。

一、ゼリス剤、ひ酸鉛、除虫菊も有効。

キスジノミハムシ

形態 成虫は体長一ミリ前後の微小な虫。体は光沢ある黒色で、背面縦に、中央部ややくびれた細長いじん臓形の二つの黄紋がある。

加害 成虫はダイコン、ハクサイなどの十字花科作物の葉を食害する。幼虫はその細根を害する。

防除

一、播種するとき、まき溝にBHCの粉剤をまき、さらに虫の発生を見計らい、BHC水和剤〇、〇四%を散布する。

一、バラチオンを使えばその二〇〇〇倍液は効果がある。

一、除虫菊石けん液、ひ酸鉛、ひ酸石灰液、ゼリス剤の散布も有効。
(田盛正雄)

発行所 琉球大学農家政工学部

発行人 島袋俊一

印刷 沖繩タイムス社

指令第一九八〇号

一九五八年十一月二五日印刷

一九五八年十二月一日発行